

《 目 次 》

- トピックス
 - ・森林組合合併に向けて合併契約を締結
 - ・花いっぱいコンクール只見小・青柳地区ダブル受賞！！
 - ・「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました
 - ・水土里を育む普及促進事業「探ろう！清流の里田部」を開催しました
- ・南会津産木材市 高値での取引
- ・第6回南会津新そば祭りが開催されました
- ・芦ノ原地区棚田オーナー制度と中山地区ピザ窯作り
- ・南会津警察署に「ほっと」スペース誕生！
- ・あいづ“まるごと”ネット交流会を開催しました
- ・JA農産物品評会開催される！！
- ・ファミリー緑の教室開催
- ・森林づくりタウンミーティングを開催
- 農林事務所からのお知らせ
 - ・米の全量全袋検査に御協力いただきありがとうございました
 - ・リンドウを育ててみませんか？
- コラム
 - ・発見！おいしい南会津第2回～苞豆腐～

平成26年12月16日発行 福島県南会津農林事務所



トピックス

森林組合合併に向けて 合併契約を締結

10月20日、御蔵入交流館で南会津町の伊南村、館岩村、田島の3森林組合による合併予備契約の調印式が行われました。関係者約60人が見守る中、馬場組合長、星組合長、室井組合長と立会人の大宅町長、國井福島県森林組合連合会長が予備契約書に署名し、契約書を取り交わしました。

11月26日には各組合の総会、総代会において合併が承認され、予備契約は本契約となり、来年3月の南会津森林組合誕生に向けて、新組合設立委員会のもとで諸手続が進められています。

(森林林業部)



合併予備契約調印式の様子

花いっぱいコンクール 只見小・青柳地区ダブル受賞！！

第47回花いっぱいコンクールにおいて、『只見小学校』（只見町）が「福島民友新聞社長賞」を、『青柳地区花いっぱい運動盛り上げ隊』（南会津町）が「農林中央金庫福島支店長賞」をそれぞれ受賞されました。管内からの応募は2団体でしたが、ダブル受賞となりました。

青柳地区では、季節の移ろいと共に様々な色を楽しめ、川や道沿いに広がるアヤメやオレンジコスモスは見応え十分です。

一方、只見小学校では毎年、各学年と地域ごとに花壇を持ち管理をしていて、校内独自のコンクールも開催されています。

皆さんの地域でも花いっぱい運動に参加して彩りのまちづくりを進めてみませんか？

(農業振興普及部)



只見小学校の花壇はとても華やかです 青柳地区の見事なオレンジコスモス

「おいしいふくしまいただきます！」 キャンペーンを開催しました

県では、県産農林水産物への風評の払拭を目的に、消費拡大キャンペーンを開催しています。

第2回キャンペーンを10月10日、大内宿において、第3回を11月7日、只見町の新そばまつりに出展する形で季の郷湯らにて開催しました。

キャンペーンでは、農林水産物の風評に関するアンケートを行い、回答いただいた方に南郷トマトやなめこ缶詰等が当たる抽選会などを実施しました。また、第3回キャンペーンでは、只見町の森林の恵みをPRするため、只見町の小沼伸子さんを講師にお招きし、アケビの蔓を台座にカスミ草やウメモドキ、松ぼっくり等を飾り付けるリースづくり体験教室を開催したところ、大変好評でした。県では引き続き、県産農林水産物のPRを行ってまいります。（企画部）



参加者は楽しくリースづくりを体験しました

水土里を育む普及促進事業 「探ろう!清流の郷 田部」を開催しました

近年の農村地域における混住化や高齢化の進行により、水源の保全など農村環境を保全管理する機能が低下している状況にあります。

10月4日(土)に南会津町で水土里を育む普及促進事業「探ろう!!清流の郷 田部」を開催しました。

田部地区には、石積みの井戸や堰、地域営農や生活環境の維持のための農業集落排水施設があり、農業用水の流れがイメージしやすい地域です。今回は、参加者56名が約4キロのコースを下りつつ、施設見学、地元農家の説明を受け、リンゴ収穫を体験しました。

農業用水を引くための先人の苦労や地域の歴史、水の大切さなどを学び、貴重な経験になったことと思います。（農村整備部）



参加者は歩きながら施設を見学しました

南会津産木材市 高値での取引

10月16日～23日に南会津地方木材安定供給連絡会議主催の秋の南会津産木材市が開かれ、だいくらスキー場の土場にはカラマツを中心に約1,190㎡の地元材が並びました。

平均取引額はこれまでを上回り、11千円台/㎡となり、造材や極積技術の向上による底上げも価格上昇の要因になりました。今後とも研修会を開催するなどして、スキルと単価アップを図ってまいります。

今回の木材市は平成23年度から数えて9回目を迎え、今年度は計3回の開催で約2,300㎡の取扱となりました。今後も南会津産材が復興及び住宅用資材等として、広く活用されることを期待します。

(森林林業部)



木材市会場の様子

第6回南会津新そばまつり が開催されました

10月12～13日に南会津新そばまつり実行委員会主催の「第6回南会津新そばまつり」が南会津町の御蔵入交流館で開催され、南会津町や下郷町の他、小野町から6店が出店し、それぞれのこだわりの技によるおいしいそばを提供しました。

また、昨年に引き続き、同時開催となった「元気です!南会津都市交流フェスタ」のブースでは、会場商品の販売や子供歌舞伎などの野外ステージのほか、全県的なイベントである「スマイルキャラバン」による展示ブースやキッズコーナーなど、多彩な催しが行われました。

今年は台風の影響により、参加者の減少が危ぶまれましたが、CMでの告知や関東方面からのツアーも組まれたことなどから、昨年並みの来場者となり、12日は7,000食完売でした。

来年度以降も、多くの団体に参加いただき、南会津や福島の元気を全国に発信する総合的なイベントに育てていきたいと考えています。

(農業振興普及部)



多くのお客さんでにぎわうそば祭りの様子

芦ノ原地区棚田オーナー制度と 中山地区ピザ窯作り

11月2日、下郷町の芦ノ原地区で今年度棚田のオーナーとなって米作りを体験する「芦ノ原自然村棚田オーナー」の収穫祭が行われました。

5組19名の家族等が参加し、収穫祭では事務局から米30kgが贈呈されました。

また、なかやま「きのこ」と「むら」づくりサポーター制度に取り組む、下郷町の中山地区では、学校行事などで体験してもらおうと製作に取り組んできたピザ窯が完成しました。間伐材でピザ窯を囲う小屋を作り、煉瓦も廃材を利用するなど環境にも配慮されています。中山地区では来年2月に「雪月火」の開催が予定されており、更なる盛り上がりが見込まれます。

※「雪月火」とは、雪に覆われた夜の中山地区を西暦の数のろうそくの灯りが照らす夜景イベントです。

(企画部)



中山地区の方と調理を行う様子



手作りの窯は火力もばっちりです 収穫された米の重みに笑顔の参加者



南会津警察署に 「ほっと」スペース誕生！

12月10日に南会津警察署で新「ほっと」スペース創出事業で完成した製品の贈呈式が行われました。

この事業は森林環境税を活用し、県民が利用する公共施設等に県産材製品を設置して木の温もりや森林の大切さを感じてもらうために実施しているものです。

贈呈式では木製品のデザインや製作に関わった田島高校の生徒が、「大切に使用していただき、多くの人に木の温もりを感じてもらいたいです。」と挨拶し、南会津農林事務所長から南会津警察署長に地元間伐材で製作された卓上衝立2台と案内掲示板1台の目録が贈られました。

今回の木製品は、免許証更新窓口と玄関ホールに設置されます。
(森林林業部)



田島高校の生徒が製作した衝立と掲示板

あいづ“まるごと”ネット交流会 を開催しました

11月17日、下郷ふれあいセンターにおいて第2回あいづ“まるごと”ネット交流会を開催しました。
(会津、南会津農林事務所の共催 100名参加)

第1部は、「未来食堂」代表で日本食文化研究料理家のもりおかまりこ氏による、「地域資源を活用した商品づくり・連携づくりのポイント」と題した講演会、また、第2部は、会津及び南会津の6次化商品8品目について、試食及び5名のアドバイザーによる求評会を行いました。

南会津からは、柿ちっぷす (NPO法人あたご) やそばまんじゅう (笹屋皆川製菓) など4品目が出展され、アドバイザーからは、味や食べ方がイメージできるような商品名やパッケージデザイン、原材料の色や風味を強く感じさせる商品づくりの必要性について意見が出されました。

今回出展された商品は、今後アドバイザー等の意見をもとに改良が行われ、来年2月に会津若松市内で開催予定の第3回交流会に出展され、再び求評を受ける予定です。(企画部)



試食会の様子 (柿ちっぷす)

J A農産物品評会開催される！！

平成26年度のJ A祭に併せてJ A会津みなみ農産物品評会が11月1日(下郷地区、只見地区)及び11月3日(田島地区)に開催されました。それぞれの会場には、農業者が丹精を込めて栽培した米や大豆、じゅうねん等の穀類、ハクサイやダイコン等の野菜類、リンゴ、キウイ等の果樹類、アルストロメリア、ホオズキ等の花き類など、多くの出品がありました(下郷:178点、只見:77点、田島:91点)。

その結果、南会津農林事務所長賞は、田島地区で星レエ子さんの赤大根が、下郷地区で湯田和男さんの長いもが、只見地区で渡部アヤ子さんのキャベツがそれぞれ受賞されました。

出品されたものはいずれも品質がよく、特に上位入賞された出品物は、それぞれの作物特性が十分に発揮されたものでした。

(農業振興普及部)



品評会で審査を行う様子

ファミリー緑の教室開催

9月27日、南会津地方緑化推進委員会主催による「ファミリー緑の教室」が開催され、22名が参加しました。

これは、家族で自然に親しむことで「緑」の恩恵に感謝する心や愛護する心を育むことを目的に緑の募金を活用して開催しているもので、27回目となる今年にはユネスコエコパークに登録された只見町で開催されました。ブナと川のミュージアムでの講話や町内のブナ林での自然観察会のほか、町の伝統工芸のつる細工によるくるみの樹皮を使ったキーホルダーづくりを行いました。参加者には、秋晴れの中、緑の大切さや森と人との繋がりを実感していただけたようでした。
(森林林業部)



参加者と記念撮影

森林づくりタウンミーティングを開催

10月23日、南会津町の御蔵入交流館で「森林づくりタウンミーティング」を開催し、南会津地域から60名が参加しました。

これは、森林を全ての県民で守り育て未来へ引き継ぐために平成18年度から導入している森林環境税の取組や成果を県民の皆様にお知らせし、ご意見をお聞きするため県主催により県内各地で開催しています。参加者からは森林整備の拡充や森林環境学習の継続、里山づくりへ支援等の意見が活発に出され森林環境基金への期待の大きさが感じられました。

現在、森林環境税に関するアンケートを実施しており、当事務所のHPからも回答いただけますので、是非ご意見をお寄せください(アンケートは12月25日まで受付けています)。(森林林業部)



タウンミーティングの様子

農林事務所からのお知らせ

米の全量全袋検査に御協力 いただきありがとうございました

今年産米の全量全袋検査は、農業者、JA、各集荷業者、各町等の御協力により、12月10日現在、

南会津地方全体で305,415袋(南会津町:167,955袋/下郷町:71,187袋/只見町:66,273袋)の検査を実施しました。

検査結果は、3年連続で全ての米が基準値を下回り、当地域の米が全て安全な米であることが改めて確認されました。検査を終えた米袋には、検査済みラベルが貼られ、消費者の皆様が安心感を持って購入できるようになります。

※全量全袋検査結果は、ふくしまの恵み安全対策協議会のホームページ(URL: <https://fukumegu.org/ok/contents/>)で随時公表しております。是非積極的に御活用下さい。
(農業振興普及部)

リンドウを育ててみませんか?

南会津地域はトマトやアスパラガス栽培で有名ですが、実はリンドウの生産額が県内1位、カスミソウの生産額が県内2位の花の大産地でもあります。

リンドウは、田んぼで露地栽培ができる点が大きなメリットです。除草や防除が大変な一面もありますが、手塩にかけて育てた花が綺麗に色づき、出荷する時の喜びはひとしおです。特に、田んぼを有効に活用したい!定年退職後にもうひと頑張り園芸品目栽培に取り組みたい!という方には、最適な栽培品目です。リンドウ栽培をしてみたい方は、農業振興普及部(0241-62-5264担当:鈴木)までご相談ください。

(農業振興普及部)



紫が鮮やかなリンドウ

コラム 発見!おいしい南会津第2回~苞豆腐~

第2回目は、南会津の郷土食に欠かせない苞(つと)豆腐です。

苞豆腐はつゆじや煮しめに使われ、冠婚葬祭の時に出される食材として親しまれて来ました。苞豆腐を生産している下郷町の不二屋豆腐店では、お盆やお正月などのピーク時には1日100~150本の苞豆腐を生産するということです。

コクがあって独特の食感が楽しめる苞豆腐をみなさんもぜひ味わってみませんか?

(企画部)



苞豆腐を袋に詰める工程

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a>

電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256



Future From Fukushima.

みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。